答え 10月14日 今日は何の日クイズ



赤い字が答えです

鉄道の日にちなんで「読めるかな？難読駅名クイズ」

【第1問】北海道の駅「長万部」。なんと読む？

① おしゃまんべ　② ながまんべ　③ ちょうまんぶ

アイヌ語の「オ・シャマン・ペ」がもとで、町の説明では「カレイがたくさんとれる川口」という意味だそうです。駅弁の「かにめし」でも有名です。

【第2問】新潟県の駅「親不知」。なんと読む？

① おやしらず　② しんふじ　③ おやふどう

海にがけがせまる、北陸道いちばんの難所でした。波の合間に急いで通るので、親は子を、子は親をかえりみるひまもなかったことから、こう呼ばれたといわれます。

【第3問】青森県の駅「驫木」。「馬」が3つの字です。なんと読む？

① うまぼく　② とどろき　③ うまんぎ

日本海の波の音がとどろき、馬が驚いた、という言い伝えから、この字が使われたといわれます。「驫」は30画もある字です。

【第4問】徳島県の駅「大歩危」。なんと読む？

① だいほき　② おおぼけ　③ おおあるき

吉野川の深い谷「大歩危」から付いた駅名です。「大股で歩くと危ないから」という説などがあります。すぐ近くには「小歩危（こぼけ）」という所もあります。

【第5問】茨城県の駅「潮来」。なんと読む？

① ちょうらい　② しおこ　③ いたこ

昔は「板来（いたく）」と書きました。江戸時代に、水戸黄門で知られる徳川光圀の命で「潮来」の字に改めたといわれます。あやめの名所、水郷の町です。

【第6問】滋賀県の駅「膳所」。なんと読む？

① ぜんしょ　② ぜんどころ　③ ぜぜ

「膳所」はお膳（食事）を用意する所という意味です。昔、天皇の食事に使う魚などを納めた場所だったことから、この名が付いたといわれます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます